

## 第4回日本語教育研究集会予稿集

---

発表者	タイトル	頁
鈴木智美	複合助詞「として」の意味・用法再考 - 日本語研究と日本語教育研究からの包括的記述の試みの一事例として -	2-5
稲葉みどり	言語発達と物語文の時制 - 日本語を母語とする子どもの場合 -	6-9
許 夏玲	接触場面における日本語母語話者と中国人学習者の表現使用について - 助言の方法と助言の受け止め方 -	10-13
廖 紋淑	コーパスを使った局面動詞の研究	14-17
名嶋義直	終助詞ヨとネに関する語用論的考察 - 手続き的意味の観点から -	18-21
東 会娟	日本語学習者の縮約形の習得について - 「知識」と「運用」の差に注目して -	22-25
木暮律子	会話における発話権の終了	26-29
呂 雷寧	日本語の無意志自動詞について - 可能という観点から -	30-33
木下りか	例示によって示されるもの - ~タリ~タリスル -	34-37
衣川隆生	自己制御学習能力育成を目指したコース運営	38-41
杉村 泰	文法性判断について考える - 「言おうと思えば言える」ことと「実際に使う」こと -	42-45
金 春女	連体修飾表現に関する一考察	46-49

---

時 2006年8月7日(月)

場所 名古屋大学大学院国際言語文化研究科棟 LL22 番教室

主催 日本語教育研究集会実行委員会

本研究集会は国際言語文化研究科平成18年度教育研究推進プロジェクト経費の助成による